

令和6年9月

伊東市議会 9月定例会

決算大綱質疑要旨

伊東市議会

決 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 自由民主 伊東 井 戸 清 司 君
(9月5日(木) 10時～11時30分)
- 2 正風クラブ 佐 藤 周 君
(9月5日(木) 13時～14時30分)
- 3 公 明 党 篠 原 峰 子 君
(9月5日(木) 14時40分～15時40分)
- 4 政 和 会 杉 本 憲 也 君
(9月9日(月) 10時～10時45分)
- 5 会派に所属していない 田久保 眞 紀 君
(9月9日(月) 10時55分～11時20分)
- 6 会派に所属していない 犬 飼 このり 君
(9月9日(月) 11時20分～11時45分)
- 7 会派に所属していない 重 岡 秀 子 君
(9月9日(月) 11時45分～12時10分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

決算大綱質疑要旨

自由民主 伊東 井戸清司

令和5年度決算に関し、以下5点伺う。

1 決算概要説明書に関し、以下3点伺う。

(1) 歳入決算額は330億9,173万8,000円で、対前年度比5.8%の増、歳出決算額は315億2,536万5,000円で、対前年度比4.5%の増、執行率は93.8%となっているが、この執行率について、どのように分析しているのか伺う。

(2) 繰越明許費5億1,344万9,000円を差し引いた実質収支額は、前年度を大きく上回る10億5,292万4,000円となっているが、10億円を超えた要因について伺う。

(3) 「継続的に実施してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保」とあるが、どのような改革を行ってきたのか伺うとともに、適正とされる規模とは具体的に数字で表すと、どのような規模になるのか伺う。

2 伊東市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書を踏まえ、以下2点伺う。

(1) 予算執行状況において、不納欠損額は、対前年度比2.6%、332万3,442円、収入未済額は、対前年度比34.9%、3億6,644万3,912円と、前年度と比べ、それぞれ増加しているが、その要因について伺う。

(2) 普通会計における財政分析において、財政の健全化が維持されていることは理解するが、財政力指数が年々低下している要因をどのように分析しているのか伺うとともに、今後財政力指数を向上させるためにはどのような取組が必要なのか伺う。

3 各会計歳入歳出決算について、以下2点伺う。

(1) 第19款繰入金の予算現額は、対前年度6億9,608万9,000円、率にして49.8%、また、調定額は、対前年度比9億3,723万8,667円、率にして129.6%の大幅な増額となっているが、このうち、財政調整基金及び競輪事業収益金活用基金の繰入れに対する考え方について伺う。

(2) 特別会計6会計中、5会計が財源を一般会計から繰り入れている状況であり、令和5年度は、法定繰入分を含め33億8,746万911円となり、対前年度比2.8%の増額となっている。また、下水道事業会計についても、対前年度比3.4%増の12億700万円を一般会計から繰り入れていることから、下水道事業の経営改善策を伺う。また、年々減少している水道水の使用量についてどのように分析し、今後どのような改善策を検討しているのか伺う。

4 一般会計歳出に関し、以下7点伺う。

(1) 第3款民生費について、以下4点伺う。

ア 民生費全体の不用額が、2億4,887万3,361円減少した理由について伺う。

イ 社会福祉総務費における負担金補助及び交付金の不用額が、前年度よりも減少した理由について伺う。

ウ 障害者福祉費における扶助費の不用額が、前年度よりも3,933万9,733円減少した理由について伺う。

エ 児童福祉費の補正予算を含めた予算現額が前年度よりも1億3,395万円増額となった理由について伺うとともに、不用額が前年度よりも増加し、1億1,386万1,385円となった理由について伺う。

(2) 第4款衛生費について、以下2点伺う。

ア 保健衛生費は、補正予算において3億6,794万2,000円を増額し、予算現額を26億6,372万2,000円としているが、2億5,509万8,029円の不用額を生じた理由について伺う。

イ 清掃費のうち、じん芥処理費の不用額が前年度と比べて倍増した理由について伺う。

(3) 第6款農林水産業費について、以下2点伺う。

ア 農業振興費の有害鳥獣対策協議会補助金が皆減となった理由について伺う。

イ 水産業費における水産業共同施設整備事業補助金の事業内容について伺う。

(4) 第7款観光商工費における当初予算額は、対前年度1億2,472万8,000円の増額とし、補正予算を含めた予算現額は、18億8,330万5,000円と対前年度2億8,699万7,000円の増額で決算されているが、それまで猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行されたことにより、ウィズコロナからポストコロナへと大きく転換した令和5年度であったが、当該年度における本市の観光施策について、特に重点的に進めてきた事業にはどのようなものがあるか伺うとともに、予算を増額して取り組んできた各事業や取組に対して、どのような分析を行い、どのような効果がもたらされたのか伺う。

(5) 第8款土木費について、近年、自然災害が激甚化していることから、災害対策に関するインフラ整備としては、どのような事業が行われてきたのか具体的に伺う。また、今後、本市の災害対策としてはどのような事業を進めていかなければならないと考えているのか伺う。

(6) 第9款消防費に関し、以下2点伺う。

ア 消防団の担い手不足は、どこの地区も喫緊の課題であることから、どのような対策が取られたのか伺う。

イ 自主防災組織との連携はどのように図られたのか伺うとともに、必要な防災資機材等の補充は十分に行われているのか伺う。

(7) 第10款教育費について、市債現在高における教育債の割合が7.5%と大きな比重を占めてきているが、令和5年度の償還状況はどのようになっているのか伺う。また、今後の教育債の推移についても併せて伺う。

5 令和5年度決算統括として、ポストコロナ時代に入り、様々な課題が出てきていると考えるが、これら課題をどのように捉え、解決していくため、本決算を踏まえ、令和7年度予算編成において、どのように反映させていくのか、次年度へ向けた市長の方針を伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風クラブ 佐 藤 周

- 1 令和5年度一般会計歳入決算について、対前年度比13.6%増であった自主財源比率の改善に寄与したと見受けられる、市税とふるさと伊東応援寄附金の増加要因について伺う。

- 2 令和5年度一般会計歳出決算について、以下3点伺う。
 - (1) 決算額について、対前年度比13億6,994万5,000円、4.5%増加している中、投資的経費については、対前年度比3,485万7,000円、2.1%の減少となった要因について伺う。

 - (2) 不用額について、対前年度比では22.2%減少しているものの、10億6,998万2,715円の額が生じた理由について伺う。

 - (3) 歳出総額に対する人件費の状況に関し、平成30年度との比較では、歳出総額は20%の増であるが、人件費は13%の増にとどまり、人件費の歳出総額に占める割合では0.9ポイントの減となっていることについて、どのように評価しているか伺う。

- 3 ボトムアップ方式による市政運営として、地域タウンミーティング、市長への手紙、未来ビジョン会議について就任以来継続的に取り組まれているが、施策への反映状況について伺うとともに、継続して取り組む中で見えてきた課題について伺う。

4 令和5年度市長施政方針に基づき、決算概要において説明があった、重点的に予算配分した施策の決算について、以下5点伺う。

(1) 令和6年3月末現在の本市人口は65,035人で対前年度比892人の減、出生数は214人で対前年度比3人の増であった実績を踏まえ、移住定住促進の取組等の人口増加策について、どのように評価しているか伺う。

(2) 妊娠、出産から始まる子育て支援施策は、各種公費助成のほか誕生・入学祝金や各種給付金に加え、母子保健事業と連携しながら子育て世帯に寄り添った施策が実施されていると考える中、新規事業である市立幼稚園給食事業の評価及び小学校区ごとに設置された放課後児童クラブにおける保護者及び支援員からの意見を踏まえた事業の評価について伺う。

(3) 燃料費の高騰及び物価高騰の影響が厳しい状況でありながらも、インバウンド需要が追い風となった本市の観光施策について、施設整備、マーケティング、多様化する旅行者のニーズの把握及び広域連携の計画と実施に対する評価について伺う。

(4) 物価高騰による市内経済の落ち込みを防ぐために実施した、キャッシュレス決済ポイント還元事業や経済変動対策資金貸付金利子補給事業に加え、補正予算で計上した伊東温泉宿泊促進事業、貨物運送事業者支援事業費補助金など、地域経済の活性化策として行った事業の評価について伺う。

(5) 「『夢と未来を育む図書館』～ひとりひとりの創造拠点～」をコンセプトとして着手した新図書館建設事業の評価について伺う。

5 令和5年度の市長経営方針である「新しい伊東スタイルへの挑戦～躍動するまちへ～」を踏まえ、以下3点伺う。

(1) 第2款総務費について、以下3点伺う。

ア 契約検査費に関し、工事検査件数が前年度と比較し31件減の122件となった要因について伺う。

イ 健康保養地づくり事業において、先進的な健康まちづくりの推進のために様々な事業を実施しているが、コロナ禍を経て事業内容を変更したか伺うとともに、参加者の状況について伺う。

ウ マイナンバーカード交付事業において、令和6年3月末時点でのマイナンバーカードの保有率が71.7%であったことを踏まえ、近隣市町との比較状況について伺う。

(2) 第10款教育費における学校保健予防対策において、定期健康診断や各種健診を実施していることから、コロナ禍前と比較して検査結果に際立った変化がないか伺う。

(3) 介護保険事業特別会計における地域介護予防活動支援事業について、コロナ禍を経て事業内容を変更したか伺うとともに、参加者の状況について伺う。

6 競輪事業特別会計に関し、以下2点伺う。

(1) 競輪事業は経営改善のための努力を継続してきた結果、一般会計への繰り出しを10年連続で行い、令和5年度に関しては14億円を繰り出しており、市財政に寄与していると考えられるものの、競輪界全体の車券売上総額は対前年度比9%増となっているが、本市における車券売上額は対前年度比3.5%増であることから、競輪界全体の車券売上額の増加率と乖離が生じた要因について伺う。

(2) 競輪場活性化イベント・ファンサービス事業及び選手宿舍外壁改修工事を実施したことの効果をどのように評価しているか伺う。

7 霊園事業特別会計に関し、令和5年度から供用を開始した合葬式墓地について、どのように評価しているか伺う。

決算大綱質疑要旨

公明党 篠原峰子

令和5年度一般会計歳入歳出決算に関し、以下8点伺う。

- 1 一般会計歳入について、市税は対前年度比0.9%の増となり、自主財源全体では対前年度比13.6%の増となったが、その要因を伺うとともに、今後の自主財源確保についての見通しを伺う。

- 2 特色ある事業として、「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業のうち、緊急輸送ルート沿道建築物耐震化助成事業について、同事業の内容及び予算執行率が66.3%となった要因を伺うとともに、今後の見通しについて伺う。

- 3 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」に係る事業において、「妊娠期から子育て期までの総合窓口を設置し、関係機関と連携する中で安心して妊娠、出産、子育てができるよう切れ目のない支援体制を構築」と掲げているが、令和5年度の実施内容及びこれまでの重点的な取組を伺うとともに、今後の見通しについて伺う。

- 4 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」に係る事業のうち、道路施設長寿命化事業について、同事業の内容及び予算執行率が56.5%となった要因を伺うとともに、今後の見通しについて伺う。

- 5 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」に係る事業について、以下2点伺う。
 - (1) 市立幼稚園給食事業及び市立幼稚園デリバリー給食事業の実績及び評価について伺う。

(2) 伊東小学校スクールバス運行事業について、運転手の働き方改革や人手不足、燃油価格高騰等の影響を受けたと思われる令和5年度の評価を伺うとともに、同事業の課題及び今後の見通しについて伺う。

6 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」に係る事業における以下の事業について、令和5年度の実施内容及び評価を伺うとともに、課題及び今後の見通しについて伺う。

(1) 観光プロモーション推進事業

(2) デジタルマーケティング事業

7 「総合計画を推進するための土台づくり」に係る事業における、魅力あるまちづくり事業補助金のうち、行政区及び分譲地等自治会が自ら企画し実践するまちづくり事業については、より特色ある取組が可能であると考えますが、令和5年度の事業評価を伺うとともに、今後の展望について伺う。

8 第7款観光商工費における物価高騰対策事業である以下の事業について、その目的及び実績を伺うとともに、その効果について伺う。

(1) キャッシュレス決済ポイント還元事業

(2) 給付型商品券事業

決算大綱質疑要旨

政和会 杉本 憲也

- 1 決算概要説明における市長の「適正とされる規模の黒字を確保」した旨の発言に関して、一般的に適正とされる黒字規模は、実質収支比率が3%から5%程度が望ましいと考えられているところ、本市の令和5年度実質収支比率は適正範囲を上回る6.3%となっていることから、健全な財政運営において最も基本的な原則である、収支均衡の原則に鑑み、本市が「適正とされる規模の黒字を確保した」と評価した根拠を伺う。

- 2 多様化する市民ニーズに応えるため、必要な事業を適切な時期にスピード感を持って過不足なく行うことが行政の使命と考えることから、以下2点伺う。
 - (1) 令和5年度の実質収支額に関し、結果として次年度への先行投資として繰り越した5億1,344万9,000円を差し引いてもなお前年度を1億8,819万8,000円上回る10億5,292万4,000円の余剰金たる黒字が生じたことについて、事業執行の必要十分性の適否の観点から、サマーレビューや予算編成において財政健全化のために歳出抑制を図るという政策判断の適正性について伺う。

 - (2) 本市の令和5年度財政力指数が0.649であったことについて、本市が理想とする財源確保策に鑑み、どのように評価しているのか、市長の見解を伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

田久保 眞 紀

1 新図書館建設事業について、予定していた建設工事の入札が不調となり、当初見込んでいた成果を達成できなかったが、その要因をどのように捉え、どのような対策や改善が必要であると考えたのか伺う。

2 森林環境譲与税について、他自治体では様々な森林整備等への活用事例が見受けられるが、本市における令和5年度の活用状況について、その目的とともに伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

犬 飼 このり

1 第2款総務費第4項選挙費に関し、市政報告書によると財産区議会議員選挙が複数区で無投票となっているが、いつから無投票が続いているか伺う。

2 HIKARI to YUKATAにぎわい演出事業委託料におけるYUKATAにぎわい演出事業について、以下3点伺う。

(1) 令和5年度の利用実績及び内訳について伺う。

(2) 市内関連事業者との連携状況について伺う。

(3) 継続事業としての問題点及び今後の展望について伺う。

決 算 大 綱 質 疑 要 旨

重 岡 秀 子

令和5年度伊東市一般会計決算に関し、以下3点伺う。

1 第2款総務費における健康保養地づくり事業は、本市のまちづくりの理念にも関わる事業であると考えますが、令和5年度の事業効果及び課題を伺うとともに、今後の展望を伺う。

2 第8款土木費における空家等対策推進事業において、令和5年度からの新たな取組として、県に負担金を支出し本市で開催した空家等対策相談会の実績及び今後の課題について伺う。

3 歳入第15款国庫支出金のうち、総務費委託金における自衛官募集事務費委託金を充当して行った事業について伺う。